

輪島市新図書館等整備基本方針（案）

基本理念

本と出会い、人とつながり、多世代が新たな価値観を創造する
「知と交流の拠点」

求められる役割 (基本機能)

読みたい・調べたい・
学びたい方を応援

多様な情報を
収集・整理・発信

文化創造・学びの拠点

地域との連携

ふらっとよれる
みんなの居場所

基本性能

耐震性能・環境性能・ユニバーサル・バリアフリーデザイン
セキュリティ・防犯対策・利便性

地域の文化・教育・情報発信の中心的な存在、地域の発展に貢献していく施設

整備基本方針

あらゆる人が利用しやすく
快適な空間

- ・蔵書の充実
- ・わかりやすい開架と快適な閲覧
- ・気軽に本とふれあえる空間
- ・スムーズな検索・貸出・返却など利用しやすいサービス
- ・レファレンス案内

資料や情報提供機能・
調査研究の拠点

- ・図書、資料の収集・整理・発信
- ・学校図書館司書や他の図書館との円滑な連携

まち・ひととつながり
価値観を創造する場

- ・文化創造を支援する場
- ・読書推進ボランティアの拠点
- ・用途に合わせた学習環境の提供

歴史・文化・産業等を学び
地域課題解決につなげる場

- ・輪島の歴史・文化を保存、収集、提供
- ・輪島を知りたい人への情報提供
- ・身近な暮らしの情報提供

誰でも集え、安心で
やさしい交流の場

- ・だれしもの「くつろげる居場所」になる空間
- ・全ての世代に対応した設備（授乳室・子どもトイレなど）
- ・安全で使いやすい什器（椅子・ソファ・机・書架など）
- ・イベント・体験交流

施設イメージ

施設規模

延べ床面積
約 3,000 m²

〔 図書館：2,000 m² 〕
〔 交流：1,000 m² 〕
2 階建て程度

- ・伝統と文化の薫り高い輪島に相応しい図書館
- ・自然素材や地元産材の活用
- ・文化会館大ホール、道の駅輪島ふらっと訪夢との一体利用、地域特性周辺環境等に配慮した図書館（ランドマーク機能）
- ・道の駅輪島バスロータリー機能（現状）
- ・道の駅輪島西側に駐車場整備（既存文化会館駐車場＋事務所棟解体跡地を駐車場として整備）全体で約 200 台